

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391600109
事業所名	グループホーム向が丘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 職員が地域の消防団に入る等、地域に根差した交流に努めている。地域の人 が気軽に建物内に入れるように、施設内に喫茶店を設け、モーニングサービス等 で毎日集う場所となっている。 「秋の味覚フェア」と銘打って、そば打ち体験のイベントを開催し、多くの地域住 民が訪れる機会を作っている。地域の情報の収集やボランティアの勧誘等に役 立て、食事作りや清掃等にも地域の人が手助けに訪れている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 市職員、民生委員、消防団長、自治会長、婦人会長、利用者家族等、出席者 は多く、活動報告に対しての意見・感想の他、テーマを決めて話し合いを行って いる。 市職員から新しく出来る総合事業についての説明を受けたり、健康作りの活動 としての「ふまねっと」の取り組みの講義を大学の教授から受ける等、内容も多様 である。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市役所に、朝市等のホームの催し物の案内を届け、足を運んでもらう等、良好 な関係が築かれている。 市の職員が、毎回運営推進会議に参加することで、新しい総合事業等の説明 を受けたり、直接、利用者家族の意見を聞いてもらう良い機会となっている。認知 症カフェの開設についての意見交換も行われ、密接な連携が取れている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族からの要望・意見は、家族会が行われた時や、面会時、電話をかける等し て聞き取っている。 恒例となっている一泊旅行の行き先も、家族からの意見を取り入れている。入浴 時間や回数等も、出来る限り要望に応えるようにしている。「機能維持に繋がるよ うな教室に行って欲しい」との家族の思いを受け、利用者への声かけを毎回する ようにしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出し
ていること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず
出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の
実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と 地域のつきあ い	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団な どの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知 症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進 会議を活かし た取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行ってい る。
4. 市町村と の連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関 する利用者、 家族等意見の 反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、そ の改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○			